

事務事業マネジメントシート(平成24年度実績と平成25年度計画)

平成26年 1月 7日 更新

事務事業名		再生資源集団回収助成事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	2	緑豊かな環境と共生するまちづくり			所属部	総務部	課長名	財津 公正
	施策	8	廃棄物の抑制とリサイクルの推進			所属課	環境衛生課	担当者名	白濱 ひろ子
	基本事業	21	リサイクルの推進			所属班	環境衛生班	(内線)	1143
予算科目	会計一般	款 4	項 2	目 1	事業連番 11476	法令根拠	合志市再生資源集団回収助成金交付要綱		成果優先度評価結果 : ① コスト削減優先度評価結果 : ②
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 24年度で終了 <input type="checkbox"/> 24年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)					

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	子ども会等の再生資源の回収を行なっている団体に対し、助成金を交付することによりリサイクルを進めること及び菊池環境保全組合へのごみの搬入量を削減するために平成5年度より開始した。再生資源の回収を行なった団体に対し、回収量に応じて助成金を交付する。助成金：10円/kg(古紙類、缶類、布類、ペットボトル)、10円/本(1升ビン)、8円/本(その他のビン)。平成19年度より対象品目にペットボトルを追加した。
【業務の流れ】	回収団体登録受付、助成金交付申請書受付、審査、交付決定通知、支払い事務
【主な予算費目】	負担金助成及び交付金(補助金)
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	住民より有価物にならないものがある、単価の改正をして欲しいとの意見がある。 子ども会などの活動回数が少なくなっている。自治会独自の取り組みを考えているが、人が集まらない。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動)24年度実績(24年度に行った主な活動)(DO)	子ども会総会や区長会、出前講座で事業説明を行い事業推進を行った。申請書受理、審査、支払い事務を行なった。補助金支払団体数(実績)77団体。 今年度、新規の登録が9件あった。	25年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 平成24年度に同じであるが、事業推進の啓発実施で、資源物回収量の増加を予定している。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)件 ア:申請件数 イ:	予算の主な増減の理由 平成24年度からの事業推進により120申請を130申請へ資源物回収量を増加させたことによる助成金の増
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 資源物回収団体	(単位)団体 ア:資源物回収団体数 イ:	②対象指標(対象の大きさを表す指標)
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 再生資源の集団回収を活性化し、資源リサイクルを推進する	(単位)% ア:助成を受けた団体数/登録団体数 イ:	③成果指標(意図の達成度を表す指標)
*③成果指標設定の理由と25年度目標値設定の根拠 再生資源の集団回収を実施することで、資源リサイクルの推進に繋がることから、成果指標を「助成を受けた団体数/登録団体数」とし、目標値については登録全団体に実施してもらうことが重要であり「100%」とした。		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	22年度 実績(決算)	23年度 実績(決算)	24年度 目標(当初予算)	24年度 実績(決算)	25年度 目標(当初予算)	26年度 予定	27年度 見込	28年度 見込	
①活動指標	ア	件	121	123	120	144	150	156	162	168	
	イ										
②対象指標	ア	団体	67	67	70	77	73	76	79	82	
	イ										
③成果指標	ア	%	98.5	85.89	100	90.59	100	100	100	100	
	イ										
投資 入 費 量	事業 内 訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
		一般財源	千円	10,483	10,095	10,820	10,495	11,720	11,935	12,150	12,365
	(A)事業費計	千円	10,483	10,095	10,820	10,495	11,720	11,935	12,150	12,365	
	(A)のうち指定経費	千円	0	69	10	6	9	11	11	11	
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	69	10	6	9	9	9	9	
	人件費	正規職員従事人数	人	6	4	4	5	5	5	5	
	延べ業務時間	時間	320	245	245	394	350	350	350	350	
	(B)人件費計	千円	1,318	989	989	1,603	1,413	1,413	1,413	1,413	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	11,801	11,084	11,809	12,098	13,133	13,348	13,563	13,778	

事務事業名	再生資源集団回収助成事業	所属部	総務部	所属課	環境衛生課
-------	--------------	-----	-----	-----	-------

## 2 評価の部 (SEE)

\*原則は24年度の後評価、ただし複数年度事業は24年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①24年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input type="checkbox"/> 達成した 登録団体の内、資源物を回収した団体の割合は90.59%と平成24年度より4.7%向上した。子ども会等登録団体のうち、資源物を回収しない団体があった。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】
	②25年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 目標値の「100%」は厳しいかもしれないが、目標達成に向け努力する。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 取組団体を増やすことで、さらに資源物の回収を進めることができる。	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 類似事業がない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 回収量に応じた助成金であり、削減はできない。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 回収量の確認と助成金の支払い事務のため削減の余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 子ども会、自治会に属する老人会などの団体に再生資源の回収量に応じて助成金を交付するので公平・公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 現在市がごみの減量化の推進にしており、ごみの減量化に沿った事業である。再生資源の集団回収は子ども会、自治会の老人会等が行い、再生資源の回収量に応じ助成金を市が支払うことの役割分担は適切である。

## 3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

平成24年度については、77団体(平成23年度67団体)に対して補助金の交付を行った。平成24年度は一升瓶などの瓶が41,134本(平成23年度43,192本)、古紙などの資源物が1,012,434kg(平成23年度964,280kg)を収集した。平成23年度と比較し、収集団体は9団体増加し、補助金申請回数は144回と21回増加した。

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(公平性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</p> <p>平成24年度と同様に、再生資源集団回収登録団体と回収量の増加に向け取り組んでいく。</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			○	維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上			○																		
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策</p>																						